

一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会  
令和7（2025）年度 定例学術研究会

## 発達障害児に対する医療・教育領域からの 支援の現状と課題再考

一般社団法人大阪総合医学・教育研究会では、職種領域を越えて心因性疾患やその周辺領域の子どもへの理解を深めるべく昭和52（1977）年から定例学術研究会を開催しています。

令和7年度テーマは『発達障害児に対する医療・教育領域からの支援の現状と課題再考』と致しました。昨今、医療・司法・教育・福祉領域における発達障害児への理解がかなり進み、そして、良好な連携により、子どもの育つ力を援助できることも増えてきました。

その一方で、不適応状態の早急な改善への期待も強くなりやすく、専門機関を転々とする事例が散見されるようになったと感じます。

そこで今年度は、発達障害児がひとりの社会人として成長していくことを目標に、各領域の専門性から可能な支援を確認し、専門機関どうしの有機的な連携の在り方を検討すべく、学んでいきたいと思えます。

多職種の参加者からなる研究会ですので、皆様の情報交換の場ともなれば幸いです。ご参加をお待ちしております。

**【開催予定】** 全て金曜日の 19:00～21:00

開催日	内容・講師（予定）
410回： 5月9日	成人発達障害支援者が再考する発達障害児への支援 多田和外先生（NPO法人おおさか若者就労支援機構 OYWSカウンセリングルーム室長）
411回： 6月13日	大学病院心療内科症例から再考する発達障害児への支援 —成人摂食障害症例を通して— 上村泰徳先生（近畿大学病院がんセンター／緩和ケアセンター）
412回： 7月11日	大学病院小児科症例から再考する発達障害児への支援 杉本 圭相先生（近畿大学病院小児科学教室主任教授）
413回： 9月12日	小児神経専門医から他職種に期待する発達障害児への支援 荒木 敦先生（社会医療法人真美会 大阪旭こども病院院長）
414回： 10月10日	認知機能臨床研究者から他職種に期待する発達障害児への支援 大塚 貞男先生（兵庫教育大学大学院学校教育研究科准教授）
415回： 11月7日	小児消化器専門医から他職種に期待する発達障害児への支援 磯浦 喜晴先生（大阪府済生会泉尾病院小児科医長）

（裏面につづく）

416 回 :  
12 月 12 日

病弱児・知的障害児・肢体不自由児教育領域から他職種に期待する発達障害児への支援  
白樫 麻紀先生（大阪府立東住吉支援学校教諭）

## 【参加要項】

**参加資格：**医師・看護師・心理士・教師・保育士など、子どもの成長・発達に関わる専門職に従事する方、または同領域の大学院生で守秘義務を遵守していただける方

**会 場：**エル・おおさか（大阪府立労働センター）  
大阪府中央区北浜東 3-14 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ 300m

**年会費：**20,000 円

- 定例学術研究会令和 7 年度年会員として登録手続きし、参加費を納入していただいた方は今年度中の全ての回に参加していただくことができます。
- 年会員の方には毎回のご案内をさせていただきます。
- 法人等団体としての登録も可能です。
- 単回の参加（参加費：4,000 円/回）も可能ですが、必ずお問い合わせの上、参加申込をお願いします。

※ 公益財団法人 関西カウンセリングセンター研修ポイントが取得できます

### 特別会のご案内

#### 『聞き取り困難症(LiD)／聴覚情報処理障害(APD)』

—耳鼻科領域より—

講師：阪本浩一先生

（大阪公立大学大学院医学研究科聴覚言語情報機能病態学寄附講座特任教授）

聴力には問題がないのに「聞き取れない」「効き間違いが多い」などと音声をことばとして理解しにくい状態は、音情報を脳で処理する際になんらかの障害が生じて起ると考えられており、小児の言語発達の遅れの一因であることや発達面の問題を抱える例が多く存在することが指摘されています。

今回、日本における研究の第一人者である阪本浩一先生にご講演をお願いできることになりました。現在、日程ほか調整中です。詳細が決まり次第、「こども心身医療研究所」HPほかでご案内申し上げます。どうぞご参加ください。

**参加申込・問合先：**一般社団法人 大阪総合医学・教育研究会 こども心身医療研究所

Tel. 06-6445-8701 Fax. 06-6445-7341

E-mail: gakujuitsuken@kodomosinsin.com （担当 友滝・藤原）